

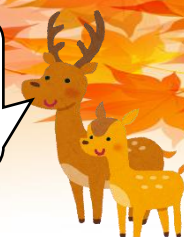
# 研修ニュース

〒518-0814

三重県伊賀市上友生 785 番地

Tel&Fax 0595-21-8839 E-mail [iga-ken@iga.ed.jp](mailto:iga-ken@iga.ed.jp)

今回は、B-6  
「生徒指導③」  
の報告です。



## 研修講座 生徒指導③

### 「Q-Uの活用～スクールカウンセラーの視点から～」

【講師】 三重県教育委員会 スクールカウンセラー 木村 敦裕 先生

10月13日(木)、スクールカウンセラーの木村敦裕先生をお迎えし、研修講座「生徒指導③」を実施しました。講義では、スクールカウンセラーの視点からQ-Uの見方や活用の仕方について、サンプルデータをもとにご指導いただきました。

初めに、Q-Uは、あくまでもツールであり、結果を読み解き、児童生徒とのコミュニケーションや学級経営に活かしていくことが大切であるという話があった後、具体的にQ-Uを活用していくうえで大切にしたいこととして以下の点を学びました。

(大切にしたいこと)

- ①教師自身がQ-Uの質問項目を読み、質問の内容(意図)を理解する。
- ②質問項目の内容と児童生徒一人ひとりの回答を照らし合わせながら見る。
- ③児童生徒の回答からその子にとって何が承認で何が侵害なのかを読み取る。
- ④児童生徒の回答が普段の様子と一致しているかどうかを見る。



大切にしたいことの4点目に関わって、普段の様子と回答が一致していない場合は、なぜ一致していないのかを考える必要があることを教えていただきました。理由として考えられることは、本人が質問項目に対して偽って回答している場合、質問内容が理解できずに回答している場合、そもそも回答する元気がない場合などがあることがわかりました。

講義の後半には、サンプルデータをもとにQ-Uの見方についてご指導いただきながら、必要となる対応や支援について考えることができました。本講座で学んだことを各校で還流いただきますよう宜しくお願いします。

#### アンケートより【一部抜粋】

- ・今日の研修はとても貴重な機会となりました。Q-Uを日々の子どもの関わりに生かしていくツールとして学んだことを自分なりに理解し、活かしていきたいと思いました。特にQ-Uの質問項目をどう子どもが理解して回答しているのか、項目ごとにその生徒の思いを想像していく大切さを学びました。(中)
- ・Q-Uをどのように見ていけばよいか、結果からどんな指導をしていけばよいか具体的に考えることができました。今までの学級経営を振り返ると、ルールや約束が曖昧になっていき、規律が乱れていく場面があったので、もう一度、結果を確認し、今後の指導に活かしていきたいと思いました。(小)